採取日時 結果コメント

依頼医師

オーダー日

要··- 検査結果用	般・網赤血球 <b>月紙の見方</b>	材料	血液	
- ¢査項目	────────────────────────────────────	単位	基準値	結果値コメント
<b>卡梢血液一般検査</b>			***	
WBC	L 1.73	10^9/L	$3.30 - 8.00 \times 10^9/L$	
RBC	L 2.97	10^12/L	$4.35 - 5.55 \times 10^{12}$ L	
Hb	L 8.9	g/dL	13.7 - 16.8 g/dL	
Ht	L 26.0	%	40.7 - 50.1 %	
MCV	87.5	fL	83.6 - 98.2 fL	
MCH	30.0	pg	27.5 - 33.2 pg	
MCHC	34.2	%(g/dL)	31.7 - 35.3 g/dL	
PLT	!L 17	10^9/L	158 - 348 × 10^9/L	
NRBC	н		0.0 /100WBC	
NRBC#	基準範	囲から外れている	*** 10^9/L	
RDW-SD	担人1-	マークが付きま <sup>-</sup>	*** fL	
RDW-CV	物口に	イーシルがらま	*** %	
PDW	H:基注	集範囲 上限超え	*** fL	
MPV	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		*** fL	
P-LCR	L:基準	単範囲 下限超え	*** 0/0	
受付日			血液 示しる	
	_			
検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント
<b>検査項目</b> 乳び(生化学)	0		が亦声となる可	クリック
<b>検査項目</b> 乳び(生化学) 容血(生化学)	0		ポープ (示] を	クリック
<b>検査項目</b> 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学)	0 0 0	検査結果	ポープ (示] を	クリック
<b>検査項目</b> 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST	0 0 0 H >1600	検査結果 (仮) U/ <b>能性があ</b>	示] を が変更となる可 示] を る仮報告である	クリック
<b>検査項目</b> 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT	0 0 0 H >1600 H >1600	検査結果 (仮) (仮) U/ ことを示	示] を が変更となる可 示] を る仮報告である	クリック
検査項目 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC)	0 0 0 H >1600 H >233	検査結果 (仮) U/ <b>能性があ</b>	示] を が変更となる可 示] を る仮報告である	クリック
検査項目 乳び(生化学) 溶血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC)	0 0 0 H >1600 H >233 H	検査結果 (仮) (仮) (仮) U/ ことを示 U/	が変更となる可 る仮報告である こしています	クリック クリック クリック
検査項目 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC)	0 0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H	検査結果 能性があ (仮) (仮) U/ U/ U/ U/ U/ U/ (反)	が変更となる可 る仮報告である しています 大多数が含まれる検	クリック ・クリック クリック <b>査値の範囲を示す</b>
検査項目 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC) γ-GT	0 0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H	検査結果 能性があ (仮) (仮) U/ U/ U/ U/ U/ U/ (反)	が変更となる可 る仮報告である こしています	クリック ・クリック クリック <b>査値の範囲を示す</b>
検査項目 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC) γ-GT	0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H 基準筆	検査結果 能性があ ことを示 U U U U U U U U U U U U U U U U U U U	が変更となる可 る仮報告である しています 大多数が含まれる検 も基準範囲外の結果	クリック クリック クリック 全値の範囲を示す となることがあり
検査項目 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC) γ-GT ΓΡ ALB A/G	0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H 基準領	検査結果 能性があ ことを示 U U U U U U U U U U U U U U U U U U U	が変更となる可 る仮報告である しています 大多数が含まれる検	クリック クリック クリック 全値の範囲を示す となることがあり
検査項目 孔び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC) y -GT 「P ALB A/G 「-Bil	0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H 基準年 もので ます。	検査結果 能性があ ことを示 で囲は、健常人の また、それとは	が変更となる可 る仮報告である しています 大多数が含まれる検 も基準範囲外の結果 逆に病気をもつ人で	クリック クリック クリック 全値の範囲を示す となることがあり
検査項目 乳び(生化学) 容血(生化学) 黄疸(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC) γ-GT ΓP ALB A/G Γ-Bil	0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H <b>基準</b> <b>もの</b> ます。 H <b>内の</b> 糸	検査結果 能性があ ことを示 の の の の は、健常人の また、それとは また、それとは また、ることも	が変更となる可 る仮報告である しています 大多数が含まれる検 も基準範囲外の結果 逆に病気をもつ人で あります	クリック クリック クリック となることがあり あっても基準範囲
検査項目 孔び(生化学) 容血(生化学) 接疸(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC) γ-GT ΓΡ ALB A/G Γ-Bil D-Bil CRE	0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H <b>基準</b> <b>もの</b> ます。 H <b>内の</b> 糸	検査結果 能性があ ことを示 の の の の は、健常人の また、それとは また、それとは また、ることも	が変更となる可 る仮報告である しています 大多数が含まれる検 も基準範囲外の結果 逆に病気をもつ人で	クリック クリック クリック となることがあり あっても基準範囲
受付番号 00010 検査項目 乳び(生化学) 溶血(生化学) 講直(生化学) AST ALT LD(IFCC) ALP(IFCC) ア・GT 「P ALB A/G 「-Bil D-Bil CRE eGFR	0 0 H >1600 H >1600 H 233 H !H <b>基準</b> <b>もの</b> ます。 H <b>内の</b> 糸	検査結果 能性があ ことを示 の の の の は、健常人の また、それとは また、それとは また、ることも	が変更となる可 る仮報告である しています 大多数が含まれる検 も基準範囲外の結果 逆に病気をもつ人で あります	クリック クリック クリック となることがあり あっても基準範囲

患者番号 氏名 生年月日 性別

採取日時 結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別       免疫検査(TARC)         受付日       受付番号       00010		材料 血液	
検査項目	検査の概要	単位	基準値
TARC	アトピー性皮膚炎の重症化に伴って大きく上昇する検査 項目で、その重症度評価の補助として用いられます。	pg/mL	1367 pg/mL 未満

受付日		材料 血液	
受付番号 00010 全本項目	検査の概要	出任	<b>甘淮佑</b>
<b>食査項目</b>		単位	基準値
RF	リウマトイド因子	IU/mL	4
	慢性関節リウマチやその他の自己免疫疾患、肝疾患で陽		15.0 IU/mL 未満
	性となります。		
MMP-3	マトリックスメタロプロテアーゼ-3	ng/mL	男性:36.9 - 121.0 ng/mL
	関節リウマチの活動性の評価や、関節破壊の予後予測に		女性: 17.3 - 59.7 ng/mL
	用いられる検査です。		XE 11.5 35.1 lig/ lilL
	免疫グロブリンG	mg/dL	
IgG	感染症、腫瘍、アレルギー性疾患などの診断や経過を調		861 - 1747 mg/dL
igo	べる検査で、免疫グロブリンのうち最も多くを占めるも		001 - 1747 mg/ dL
	のです。		
	免疫グロブリンA		
	感染症、腫瘍、アレルギー性疾患などの診断や経過を調		
IgA	べる検査で、分泌液中に多量に含まれ粘膜面の免疫に関	mg/dL	93 - 393 mg/dL
	与するものです。		
	免疫グロブリンM		
IgM	感染症、腫瘍、アレルギー性疾患などの診断や経過を調	mg/dL	男性:33 - 183 mg/dL
*b***	べる検査で、感染症初期に出現する抗体です。	mg/ dL	女性:50 - 269 mg/dL
	いる快車で、窓米延切期に田現する机件です。		
	細菌の進入などにより活性化されて、感染防御に関与す		
補体C3	る補体と呼ばれる物質(C1~C9)のうちC3を測定する	mg/dL	73 - 138 mg/dL
	もので、急性糸球体腎炎などでも低値となります。		
	細菌の進入などにより活性化されて、感染防御に関与す		
補体C4	る補体と呼ばれる物質(C1~C9)のうちC4を測定する	mg/dL	11.0 - 31.0 mg/dL
	もので、血管神経性浮腫などでも低値となります。	8/	
	000 代 血音が促圧が進ること 0 20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
CH50 (血清補体価)	細菌の進入などにより活性化されて、感染防御に関与す	CH50/mL	30 - 46 CH50/mL
C1130(血清州科圖)	る補体と呼ばれる物質の総和を反映する検査です。	C1130/ IIIL	30 - 46 CH50/ mL
	血管の内外で溶血(赤血球が壊れること)と、赤血球の		
° 1 - 4° 1.8 1.	中から出てくるヘモグロビンと結合する性質を持つタン	/ 17	10, 170, / II
ハプトグロビン	パクであるため、溶血の有無についての補助診断となる	mg/dL	19 - 170 mg/dL
	検査です。		
	肺の肺胞上皮細胞などで産生される糖タンパクで、間質	TT / T	h 11m - 500 yy / y
KL-6	性肺炎の診断などに用いられます。	U/mL	カットオフ: 500 U/mL
	肝臓で合成されるタンパクで、血中から消失する時間		THE LOCAL CONTRACTOR OF THE LO
プレアルブミン	(半減期)が短いため、栄養状態や肝臓のタンパク合成	mg/dL	男性:23 - 42 mg/dL
	能がすみやかに反映される検査です。		女性: 22 - 34 mg/dL
	血中のレチノール(ビタミンA)を輸送する働きのある、		
	主に肝臓で合成されるタンパクで、栄養状態や肝臓のタ		男性:2.7 - 6.0 mg/dL
レチノール結合蛋白		mg/dL	_
	ンパク合成能を反映する検査であるとともに、ビタミンA		女性:1.9 - 4.6 mg/dL
	の欠乏状態を示す指標でもあります。		
	鉄の貯蔵や運搬を行うタンパクで、鉄代謝異常の判定の	/ 17	男性:190 - 300 mg/dL
トランスフェリン	ほか、タンパク栄養状態の指標としても用いられる検査	mg/dL	女性:200 - 340 mg/dL
	です。		<u> </u>
	体内に貯蔵している鉄量を反映するもので貧血の補助診		
フェリチン	断にも用いられるほか、がんのスクリーニング検査や経	ng/mL	男性:50 - 200 ng/mL
/ <b>-</b> / / <b>*</b>	過観察などの腫瘍マーカーとしても用いられます。	116/11111	女性:12-60 ng/mL
	<b>廻耽宗なこの健場マーカーこしても用いりれまり。</b>		
	β2マイクログロブリン		
β 2-MG	血液中の老廃物や塩分をろ過する腎臓の糸球体の働きを	mg/L	0.90 - 1.84 mg/L
	表す指標として用いられる検査です。		
	カルシウム代謝に重要なホルモンであるカルシトニンに		
プロカルシトニン	なる前の物質で、細菌感染症や敗血症の診断や重症度判	ng/mL	0.05 ng/mL 未満
	で 9 11 ツカスト、 州西心木ルド以地ルツ砂町ド半ル及刊	116/1111	0.00 115/11111 /八個
	あるのない人へ、神岡心木正(秋皿正ツ的町「主正及刊	116/ 1111	0.00 118/ 1111 /KIM

患者番号 氏名 生年月日 性別

採取日時 結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別       感染症検査(非ウイルス)         受付日       材料       血液         受付番号       00010				
検査項目	検査の概要	単位	基準値	
梅毒脂質抗体	梅毒への感染と病状や治療効果を調べる検査です。こう 原病や抗リン脂質抗体症候群などでも陽性(=生物学的 偽陽性)となることがあります。	RU	1.0 RU 未満 陰性	
梅毒TP抗体	梅毒への感染と病状や治療効果を調べる検査です。		0.5 未満 陰性	

<b>検査種別</b> 感染症検査(ウイル <b>受付日</b> <b>受付番号</b> 00010		材料 血液		
<u> </u>	検査の概要	単位	基準値	
HBs抗原	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査で、感 染状態にあることを示します。	IU/mL	0.005 IU/mL 未満 陰性	
HBs抗体	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査で、過去に感染があったか、ワクチン接種により防御抗体があることを示します。	mIU/mL	10.0 mIU/mL 未満 陰性	
HBc抗体	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査で、過去に感染があったか、感染が持続している状態であることを示します。		1.0 未満 陰性	
HBcM抗体	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査で、急性B型肝炎の回復期、慢性B型肝炎の急性増悪期、急性B型肝炎発症期のいずれかの状態であることを示します。		1.0 未満 陰性	
HBe抗原	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査で、血中のウイルス量が多く感染力が強い状態で、ウイルスの体内増殖があることを示します。		1.0 未満 陰性	
HBe抗体	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査で、ウ イルスの活動が弱まり感染力が低下した状態であること を示します。	INH%	60.0 INH% 未満 陰性	
HCV抗体	C型肝炎ウイルスへの感染を調べる検査で、過去あるい は現在においてウイルスに感染している状態であること を示します。		1.0 未満 陰性	
HIVスクリーニング	後天性免疫不全症候群(AIDS)の原因となるHIVに感染 しているかを調べる検査です。この検査が陽性となって も必ずしもHIVに感染しているとはいえず(偽陽性)、 さらに詳細な検査によって確認する必要があります。		陰性(第4世代)	
HTLVスクリーニング	成人T細胞白血病の原因となるHTLV-1ウイルスに感染しているかを調べる検査です。この検査が陽性となっても必ずしもHLTV-1に感染しているとはいえず(偽陽性)、さらに詳細な検査によって確認する必要があります。		陰性	

検査種別	時間外検査(免疫)			
受付日			材料 血液	
受付番号	00010			
検査項目		検査の概要	単位	基準値
取 トロギー	· \/T	急性心筋梗塞の診断に用いる検査で、高度の腎不全や骨	/ T	0.014 ng/ml NF
緊 トロポニンT		格筋障害でも高値となります。	ng/mL	0.014 ng/mL 以下